

## QE1 実績評価の観点<合計 50 点>

知のプロフェッショナルの基盤となる下記 3 つの観点について、各々の具体的根拠を基に評価する。

観点（アウトカム）		プロセス	配点
1	専門研究力の強化	<p>自身の専門領域を核として、研究力強化に向けて自己研鑽している。</p> <p>【評価の具体的根拠】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在までの研究状況（目的、意義、内容、方法、工夫点）（5 点）</li> <li>・ 学会発表状況（5 点）</li> <li>・ 今後の研究計画（10 点）</li> </ul>	20
2	新産業/新分野創出への挑戦または新しい価値創造の実現	<p>社会課題の分析、異分野の知見を活用した専門研究の活かし方等、新産業/新分野創出に必要なメソッドを獲得した。</p> <p>【評価の具体的根拠】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ PBL、ワークショップ等における成果（課題設定、分析、アイデア創出等）（8 点）</li> <li>・ 新産業/新分野創出へのビジョン、キャリアプラン（7 点）</li> </ul>	15
3	ダイバーシティの理解と、それに基づく実践力や国際感覚の獲得	<p>グローバルリーダーとしての意識を持ち、国内外のダイバーシティ環境におけるグローバルスキルを獲得した。</p> <p>【評価の具体的根拠】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語による議論の場への積極的な参加と実践（4 点）</li> <li>・ リーダーシップの発揮度合い（4 点）</li> <li>・ ダイバーシティの理解度合（4 点）</li> <li>・ 国際プログラム（留学、インターンシップ、短期派遣、国際学会、海外研修）への参加と実践（3 点）</li> </ul>	15

## QE2 実績評価の観点<合計 50 点>

知のプロフェッショナルの基盤となる下記3つの観点について、各々の具体的根拠を基に評価する。

観点 (アウトカム)		プロセス	アウトプット	配点
1	専門研究力の強化	<p><b>【10 点】</b> 自身の専門分野の研究、あるいは異分野と協創した研究に意欲的に取り組み、学会等で積極的にその成果を発表している。</p> <p><b>【評価の具体的根拠】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学会参加度合 (3 点)</li> <li>・研究関連集会・学会運営への参加度合 (3 点)</li> <li>・投稿 (挑戦) 状況 (4 点)</li> </ul>	<p><b>【10 点】</b> 自身の専門領域の研究、あるいは異分野と協創した研究において、学会等にて表彰されている。</p> <p><b>【評価の具体的根拠】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1 件以上の表彰 (3 点)</li> <li>・採択論文(査読付き) 2 本以上 (5 点)</li> <li>・その他 (著書・その他著作物・特許等) (2 点)</li> </ul>	20
2	新産業/新分野創出への挑戦または新しい価値創造の実現	<p><b>【7 点】</b> 社会の課題解決に向けて、自身の研究を核としたプロジェクトやそのための共同研究等を設計した。</p> <p><b>【評価の具体的根拠】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1 件以上設計 (2 点)</li> <li>・構想までの調査・分析の内容 (2 点)</li> <li>・構想内容の専門家による客観的評価 (3 点)</li> </ul>	<p><b>【8 点】</b> 自身のアイデアを基に、社会課題の解決に向けて企業や他機関、学内他研究室と共同プロジェクトを実現した。</p> <p><b>【評価の具体的根拠】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1 件以上実現 (4 点)</li> <li>・社会課題解決の実現可能性 (2 点)</li> <li>・共同研究機関 (企業・他機関・他研究室) による評価 * (2 点)</li> </ul> <p>*卓越が指定する様式を用いて相手先に依頼してください。</p>	15
3	ダイバーシティの理解と、それに基づく実践力や国際感覚の獲得	<p><b>【7 点】</b> 国内外のダイバーシティ環境における活動・事業・研究プロジェクトに参加した。</p> <p><b>【評価の具体的根拠】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・360 度評価 (3 点)</li> <li>・プロジェクトへの参加件数 (2 点) と担った活動内容 (2 点)</li> </ul> <p>* 国際交流ワークショップ、農工協創プロジェクト、FAO Friends 等公的機関との共同活動、他大学との共同企画、自主ゼミ、その他自主活動などにおいて、複数の仲間と実施した広範囲のプロジェクトが対象。本観点にあてはまる共同研究も含む。</p>	<p><b>【8 点】</b> 多様なメンバーとの共同プロジェクトを立ち上げ、そのプロジェクトの目標を達成した。</p> <p><b>【評価の具体的根拠】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様なメンバーとの共同プロジェクトの立ち上げ (3 点)</li> <li>・プロジェクトの目標の達成 (5 点)</li> </ul> <p>* 国際交流ワークショップ、農工協創プロジェクト、FAO Friends 等公的機関との共同活動、他大学との共同企画、自主ゼミ、その他自主活動などにおいて、複数の仲間と実施した広範囲のプロジェクトが対象。本観点にあてはまる共同研究も含む。</p>	15